

2020年度 Society 5.0 研修会(第9回)

「ハイフレックス型授業にどう対応するか」

についての研修を開催しました!

2021年度に向けて ハイフレックス (Hybrid-Flexible) 型授業 **NEW**

- ハイブリッド授業の一つ。同じ内容の授業を、**対面・オンライン(同期)**同時に行い、**学生が好きな授業スタイルを選ぶ**方法
- オンライン授業を録画後配信すれば、復習や接続トラブル等でオンライン授業を受講できなかった学生の役に立つ。(オンデマンド授業とまではいかない?)
- ただし、教室とオンラインの両方の学生に注意しながら授業を行うため教員の負荷が高い、他の教員やTA/CAIによるサポートがあると安心。



開催日：2021年2月15日(月)

14時50分～16時20分

実施方法：Zoomによるオンライン

内容：

- ハイフレックス型授業の考え方と方法 (永田智子教授)
- オンデマンド授業で気をつけること (森広浩一郎教授)
- 事例紹介 (加藤久恵准教授 (永田教授が代理紹介), 石野秀明教授, 羽田潤教授, 澤山郁夫助教)

来年度以降の新しい授業の方法として、「ハイフレックス型授業」の考え方や実施の仕方についての紹介が行われました。次に、メディア授業告示など、特にオンデマンド授業で注意すべき内容についての講義が行われました。その後、ハイフレックス型授業の実践事例が紹介され、質疑応答が行われました。約85名の教職員が参加しました。



研修は、Zoomの画面共有や、ホワイトボード前で話す様子の配信などを組み合わせて行いました。機器の操作を含め、参加者にハイフレックス型授業のイメージをつかんでもらえるように努めました。



研修の後半では、ハイフレックス型授業を実践されている先生方に事例を紹介していただきました。授業の進め方だけでなく、学習効果についてのお話もありました。



評価の平均 4.23

研修に対して、満足度★4.23をいただきました! 研修後のアンケートでは、ハイフレックス型授業を実施するにあたり、機器の準備や接続などのサポートが欲しいという意見もいただきました。

